

子ども・若者活動拠点の整備について

1. 検討の経緯等

- 「今後の児童センターの方向性(R4年度)」に基づき、特色のある児童センターへの改築の検討に係る予算付け(5,000千円)
- R4年度に実施したアンケートに加え、R5年度は各種ワークショップ等により意見を抽出し、全体の基本構想に着手した。

2. 意見把握状況

①意見聴取方法

- 児童センター職員によるPT(3回開催)
- 児童センター利用者ワークショップ
- 子ども若者応援フリースペースワークショップなど

②各種ワークショップなどで寄せられた意見(必要な機能等)

◎子ども・若者活動拠点・児童センター共通事項

- ・地域の連携 ・多世代交流機能 ・Wi-Fi 設置・タブレット端末貸し出し

◎児童センターに関すること

- ・「乳幼児・小中高生・若者」それぞれ階で区切った利用
- ・交流フリースペース・ラウンジ
- ・バスケ、バレーなどスポーツができる場所

◎子ども・若者活動拠点に関すること

- ・女子・小学生など属性別の部屋
- ・工作室、調理室等目的別部屋
- ・女性も通しやすい工夫
- ・専門性の高いスタッフの配置

③建物

【現在の状況】

項目	内容
所在地	南品川 4-5-28
建築年	昭和 53 年(築 45 年)
敷地面積	1,297.88 m ²
建築面積	437.5 m ²
延床面積	828.16 m ²
高さ・階数	約 11m 地上 2 階

【改築後】

内容
850 m ²
3,500 m ²
約 15m 地上 5 階



3. 検討を踏まえた施設のコンセプト

- ・「児童センター」、「子ども・若者活動拠点」双方において求められている機能は概ね同様であるため、
⇒「子ども・若者まんなか拠点」として、乳幼児から青少年までの多世代、地域との交流施設をコンセプトに運用を検討する

4. 施設の特徴

★施設利用の比重は「子ども・若者活動拠点」に重きを置く。
小学生から 40 歳程度までが、夢を描け、リスタートするための総合支援拠点の開設を計画する。

●子ども・若者活動拠点施設・共有スペース部分

- 対象:小学生から40歳程度までのすべての青少年
- 機能:生きづらさを持つ若者の居場所・地域活動参加・就労体験・キャリア形成セミナー等

●児童センター機能

- 対象:0~18歳利用可能としつつも、乳幼児メインの機能とする(小学生~18歳までのスペースは子ども若者拠点と共用)

◎生きづらさを持つ青少年向け

- ・居場所機能、地域(青少年委員等)・若者同士がつながる機能

◎既に目標を持つ青少年向け

- ・区内企業(CSR 推進協議会企業・スタートアップ)との連携・キャリア形成、社会体験プログラム等の機能

5. 施設の運営

施設運営に係る手法については、従来の委託や指定管理、または青少年健全育成に関する経験を持った職員の配置など、幅広く検討を行う。

6. スケジュール

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
作業項目	基本構想策定	基本・実施設計		解体(8ヶ月)	新築工事(16ヶ月)		運営開始